

ジンコソーラー、三重県の98MWのメガソーラーにパネル供給

2019年12月31日、ジンコソーラーは、日本の三重県のメガソーラー（大規模太陽光発電所）に98MWソーラーパネルを提供したと公表した。これは三重県では建設された最大級のメガソーラーである。

厳格なスクリーニング過程を経て、ジンコソーラーの高効率ソーラーパネルが選ばれた。メガソーラーが2017年7月に着工し、2019年初に稼働した。稼働後の年間発電量は、一般家庭約35000世帯分の消費電力に相当する。

2019年年末まで、ジンコソーラーは累計出荷量は55GWで、140ヶ国以上に出荷し、累計顧客数3500社を超えた。2019年9月30日まで、ジンコソーラーの生産能力は、シリコンインゴットとウェハーの生産能力が14.5GWに達し、太陽電池セルが9.2GW、太陽光発電モジュールが15GWに達した。その中で、海外生産能力が2GWを超えた。